

鵜

飼

小田切康陽
真如之月

内
沙
汰

狂言

後見 松山 隆之
梅若長左衛門

間前田 晃一

則久 英志

曾和 龜井 洋佑 大川 典良
正博 松田 弘之

地謡 川口 内藤 鷹尾 梅若 幸雄 雄紀 英寿 松山 隆雄
晃平 角当 梅若 紀彰 行雄

《 休憩十五分予定 》

三宅 近成
三宅 右矩

後見 松山 隆之
山中 迺晶

間高澤 祐介

地謡 山村 庸子 内藤 幸雄
山崎 友正 鷹尾 維教
小田切亮磨 土田 英貴 角当 直隆

蟬

丸

高橋 栄子
三吉 徹子

清

経

舞囃子

工藤 和哉

間高澤 祐介

野崎 美歩

地謡 伶以野陽子 川口 晃平
鷹尾 雄紀 角当 行雄
山中 迺晶

柿原 光博
田邊 恭資 藤田 次郎

田邊 恭資 藤田 次郎



< JR線 >
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

< 地下鉄 >
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分

< バス >
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車

②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車

③京王バス(洪64:中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車

④京王バス(洪64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野 2-6-14
(公財) 梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL: 03-3363-7748
FAX: 03-3363-7749

『鵜飼』安房清澄の僧が行脚の途中、甲斐の岩和川の御堂で一夜を過ごそうとしていると一人の年老いた鵜飼と出会う。従僧が以前会った鵜飼ではないかと尋ねると、老人はその時の鵜飼は禁漁を犯し捕らえられて波に沈められたと話し、実は自分がその死んだ鵜飼の亡霊だと明す。そして懺悔のためと生前の鵜飼の有様を見せる。すると閻魔大王が現れ、法華経により鵜飼の老人が成仏した事を告げ、経の功德を説く。

『蟬丸』帝は我子である盲目の皇子・蟬丸を逢坂山に捨てるよう清貫に命じる。清貫は蟬丸を逢坂山へ連れ、剃髪させると蓑と笠と杖を渡すと蟬丸を捨てて帰る。残された蟬丸は唯一の同情者の博雅三位の用意した藁屋に住み、琵琶を抱き泣き伏せる。蟬丸の姉宮・逆髪は生まれた時から髪が逆立つ病で心が乱れ今は狂人となり放浪を続けている。逆髪がいつしか逢坂山へ来ると藁屋の中から聞こえる琵琶の音に足を止める。中を覗くと弟宮の蟬丸が琵琶で心を慰める姿を見つけ、逆髪は姉宮だと名のり互いの身の不運を蟬丸と二人で嘆き悲み合う。そして逆髪はまた何処へともなく去っていく。

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・賛助会員券 48,000円(8枚綴り券)・正面指定料別途1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
 - ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
 - ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
 - ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
 - ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。
 - ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願い致します。
また、お客様ご自身による健康管理をよろしくお願ひ申し上げます。
- ※個人情報はチケット裏面にご記入頂きます。

